

リフレッシュ理科教室決算報告書 (1/2)

(公社)応用物理学会

2023年11月13日

リフレッシュ理科教室 WG 代表者様

開催支部または分科会 (支部・分科会以外に共催がある場合はすべてお書きください) : 北海道支部
開催責任者 (支部長または分科会幹事長) : 北海道支部長 植村 哲也 公印略
開催連絡責任者 : 木村 尚仁
連絡先 : 〒006-8585 札幌市手稲区前田 7-15-4-1 北海道科学大学 TEL: 011-681-2161 E-mail: kimuran@hus.ac.jp

下記のとおりご報告いたします。

(全会場分の収支を纏めてご記載, もしくは会場毎収支のご記載, どちらでも問題ありません。
会場毎収支をご報告の場合は当ページを会場数分複製の上, ご報告ください。オンライン会場と
対面実施会場は該当ページを複製し, 分けてご報告ください)

事業名 : リフレッシュ理科教室 <北科大会場> 電気モノづくり&プログラミング講座	
リフレッシュ理科教室補助金額 : 150,000 円	
開催日 : 2023年11月11日	
開催場所 : 北海道科学大学 E棟 電気電子工学第2実験室	
決 算 (収入合計と支出合計は同額になります) (単位: 円)	
収 入	支 出
リフレッシュ理科教室補助金 150,000	印刷製本費 0 (資料・チラシ作成等)
参加費	賃借料 0 (会場費・プロジェクター等)
広告展示料	会議費 0 (弁当代等)
支部分科会からの支援金	通信運搬費 0 (郵送料等)
企業からの協賛金	消耗品費 126,873
助成金 (県・市など)	臨時雇賃金 【支払人数計 4名】 18,000 (アルバイト賃金等)
	諸謝金 【支払人数計 名】 0 (講師謝礼等)
	システム利用料(ZOOM, Webex 他) 0
	雑費 1,485
	支部への戻入れ 3,642
合 計 150,000	合 計 150,000

決算報告書は, 支部 (分科会) 会計後 1 か月以内に応物事務局 教育企画委員会担当宛へ
各支部長・分科会幹事長に CC で共有の上メール添付 (WORD 形式) にてご提出ください (原本不要で
す)。講師謝礼金やアルバイト代については, 支払人数を必ず記載してください。

リフレッシュ理科教室実施報告書 (2/2) (対面実施形式)

以下のとおりご報告いたします。

事業名：リフレッシュ理科教室 <北科大会場> 電気モノづくり&プログラミング講座

開催日： 2023年11月11日

開催場所 (同じ場所で複数回開催する場合は、日付も複数日ご記入ください)：北海道科学大学 F棟 電気電子工学第2実験室

参加者人数 (スタッフ以外の参加者を記述してください)：合計 23 名

内訳	① 児童・生徒：	16名
	② 保護者・一般：	7名
	③ 教諭等：	0名

内容 (委員会での検討や本部への報告書作成のため、各会場の特徴や工夫していることなどについてご記入下さい。)

例：各会場の運営や参加対象などの特徴、教員対象の講演会・講習会、教育委員会との連携、地方公共団体との協力、他の団体との協力など。また、補助金に対する要望事項、他支部でも参考になる事項、良かった点、悪かった点など

※ここに掲載する写真等は応用物理学会 HP に掲載しても良い内容でお願いいたします。

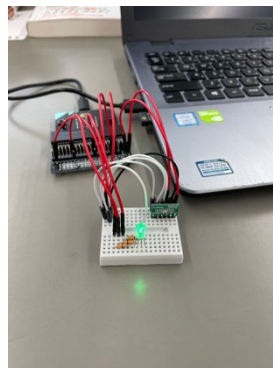
※肖像権などにご配慮いただき、後ろから撮影した写真等をご利用ください。

今回は小学5年～中学生を対象として開催し、本学の大学院生が主として進行を担当した。この講座では、前半でまずは micro:bit の基本について説明、実際に MakeCode のサイトで「おみくじ」プログラムを作成し、プログラミングの方法について体験してもらった。また、センサーやプログラミングについてミニ講義を行った。

休憩をはさんで、今回の本題である IoT デバイス作製に取り掛かった。これは micro:bit に温度・湿度センサーを接続、計測結果から不快指数を求め、三原色 LED により状況を色で表現するものである。まず MakeCode でプログラムを作成した。その後、ミニブレッドボードに micro:bit、センサー、LED を接続してデバイスは出来上がりとなる。

今回はプログラムがかなり複雑だったため、全員が予定よりかなり時間がかかったが、途中で所用のため帰宅した1名以外は、全員が無事完成した。

今回、終了時間が予定を超過したことは大きな反省点である。しかし子供たちは最後まで粘り強くしっかり取り組んでくれて、参加者アンケートでも全員が楽しかったと回答してくれていた。



実施報告書は、リフレッシュ理科教室開催後 1 か月以内 に **応物事務局 教育企画委員会担当宛** まで各支部長・分科会幹事長に CC で共有の上メール添付 (WORD 形式) にてご提出ください (原本不要です)。

リフレッシュ理科教室実施報告書 (2/2) (オンライン実施形式)

以下のとおりご報告いたします。

事業名：リフレッシュ理科教室 — (副題を記載) —

開催日： 年 月 日から 年 月 日まで

開催場所 (同じ場所で複数回開催する場合は、日付も複数日ご記入ください)：

記載例：オンライン会場 (ZOOM)、オンライン会場 (ZOOM+YouTube) 等、() 内にツール名を記載

参加者人数 (スタッフ以外の参加者を記述してください)：合計 名

内訳 ① 児童・生徒： 名

② 保護者・一般： 名

③ 教諭等： 名

下記情報がお分かりになる場合は、実施形態に応じて適宜ご教示ください。

PV数 (オンデマンドの場合など)：合計 回, 送付キット数：合計 個,

再生回数 (YouTube 動画等の場合)：合計 回, チャンネル登録者数：合計 人,

内容 (委員会での検討や本部への報告書作成のため、各会場の特徴や工夫していることなどについてご記入下さい。)

例：各会場の運営や参加対象などの特徴、教員対象の講演会・講習会、教育委員会との連携、地方公共団体との協力、他の団体との協力など。また、補助金に対する要望事項、他支部でも参考になる事項、良かった点、悪かった点など

※ここに掲載する写真等は応用物理学会 HP に掲載しても良い内容でお願いいたします。

※肖像権などにご配慮いただき、後ろから撮影した写真等をご利用ください。

実施報告書は、リフレッシュ理科教室開催後 1 か月以内に応物事務局 教育企画委員会担当宛まで各支部長・分科会幹事長に CC で共有の上メール添付 (WORD 形式) にてご提出ください (原本不要です)。